

2018・19 年度に居住地で自治会長を務め、強く感じたのは、少子高齢化が進み、今後ますます地域力が必要になるにも関わらず、地域力がどんどん弱体化しているということです。象徴的なのが、①自治会役員の成り手がいない(特に自治会長の後継者がいない)、②自治会加入率が低下し続けている、という二点で、これが全国的に進行しているようです。

そこで、自治会長時代に、社会福祉協議会、あんしんすこやかセンター、地域の福祉 NPO 法人に参加していただき、勉強会を開催しました(月1回のペース)。引き続き、2020～22 年度には須磨区から(「自治会を支援する会・西須磨」として)助成金を、2023～25 年度には神戸市から補助金をいただき、自治会を支援する活動を進めてきました。今年が、補助金3年目になります。

6 年間に関わってきた代表的な 16 案件を次ページに示します(うち、2025 年度に関わった案件には、アンダーラインを施しています)。後継者問題に係る相談は、半数の 8 件でした。A-1(1)は、1 年間かけて後継者を見つけ出し、バトンタッチできました。A-1(2)は、自治会を休会させ、将来必要になったら再開できる余地を残しました。A-1(3)は自治会規約を改訂して、自治会長が残留しました。A-2(1)は、将来引き継いでくれそうな人を育てつつ、当面は自治会長が残留しました。A-2(2)はアンケートを実施し、会長を引き受ける意思のある人が見つかり、実現に向けて進めています。A-2(3)は、私が総会で講演した結果、関心をもってくれる若手が数人出てきて、バトンタッチに向けて交渉を進めています。A-2 の 3 件は、決着はついていないが、私の手を離れ、現自治会長・副会長が自主的に進めています。

その他のうちの今年度手がけた案件については、B-1(2)は、電話相談で解決の方向が見え、本人が前任者と再協議することになりました。B-2(1)は、マンション管理組合と自治会担当者との軋轢があり、マンション管理組合副理事長兼自治会会長にコミュニティ条項について説明したのですが、なかなか理解できず、解決に至っていません。B-2(2)は、案を相談し総会で提案・説明するところまで行ったのですが、今回は通せなかったそうです。

得られた知見

- ・ 世間で見かけるほとんどのアンケートで、「自治会長の後継者」が自治会課題の一番に挙がっているが、自らなんとかしようとする自治会長はあまりいませんでした。
- ・ おそらく、身近な人に頼んで断られ続けた結果、あきらめてしまったのではないかと思います。ただ、自治会内でアンケートを取るなど能動的に働きかけると、今まで見えていなかったところから自治会長候補が見つかったことが何回かありました。

今後の予定

- ・ 補助金をもらっての活動は、終了します。
- ・ 店じまいはしないが、積極的に働きかけはせず、協力の要望があれば協力します。
- ・ 短い期間であれば無料で相談に応じ、長くなりそうであれば、合意すれば、有料で相談にのります。
- ・ しかし、これまで経緯からみると、「開店休業」になる可能性が高いと予想しています。
- ・ E・コミュニティ神戸のホームページは、閉鎖しないけれど、ほぼ毎日発信してきた自治会関連情報の提供は、当面停止します(将来再開するかどうかは、未定です)。

<https://24suma.net/>

自治会交流会 9月度休日部会

自治会の課題解決 事例紹介と事例研究

(分類)

E・コミュニティ神戸
藤波 進

A. 後継者問題(8/16件)

2025 年度に取り組んだのは、アンダーライン

A-1 解決した(結論が出た)

- (1) 他の役員がいなくなり、一人取り残された。誰も役員を引き受けてくれない
- (2) 昨年、自治会長が亡くなった。自治会長を引き受けてくれる人がいない
- (3) 昨年引越して自治会の地域から転出した自治会長からの相談。後継者がいない

A-2 解決の方向に向かいつつある

- (1) 二人交代で自治会長。「自治会を解散したい」「継続したい」と意見が分かれたまま
- (2) 妻が認知症になり、来年3月には会長を辞退する。しかし、後継者がいない
- (3) 自治会長が後継者を育てていない。早晚、自治会長が不在になりそう

A-3 解決しないままに終わった(切実に解決しようと思っていなかった)

- (1) ①コロナ下で中止していた行事を再開したい。②会長の後継者がいない
- (2) 長年自治会長をしていた人から引き継いだ、次の人がいない。不安だ

B その他(8/16件)

【マ】マンション自治会、【公】公営住宅自治会、【ふ】ふれあいのまちづくり協議会、その他は町丁目自治会

B-1 解決した(相談者が方針を決めた)

- (1) (町丁目自治会より) 地域内にあるマンションを自治会から切り離したい
- (2) 会計を引き継いだ、前任者の作った会計ソフトが複雑すぎて手を付けられない

B-2 継続中

- (1) コミュニティ条項を削除し、管理組合から自治会を分離する。意見を集約したい【マ】
- (2) 県営住宅の新任の自治会長から。自治会総会で提案したいことがある。相談したい【公】

B-3 解決されないままに、相談は終わった(E・コミュニティ神戸としては、できることはした)

- (1) 自治会長がワンマンで、活動はしているがオープンにされていない。会計に疑義がある
- (2) 自治会を活性化したいが、どこから手を付ければよいかわからない(その後、連絡がない)
- (3) 会長が頑張りすぎている。高齢化で運営が難しくなってきた。後を継げる人もいない【ふ】
- (4) 基礎情報を得るために、アンケート調査をしたい。どうすればよいか【ふ】

以上